



**ENGINEERING BETTER BEER**

**グレインミル製品ガイド  
(Grain Mill Product Guide)**

# 使用前にお読みください

## グレインミルを使用する前に

### ベルトの張り (Belt Tension)

初めて使用する前に、7ページの指示に従ってベルトを正しく張ってください。そうすることで、ベルトの損傷を防ぐことができます。

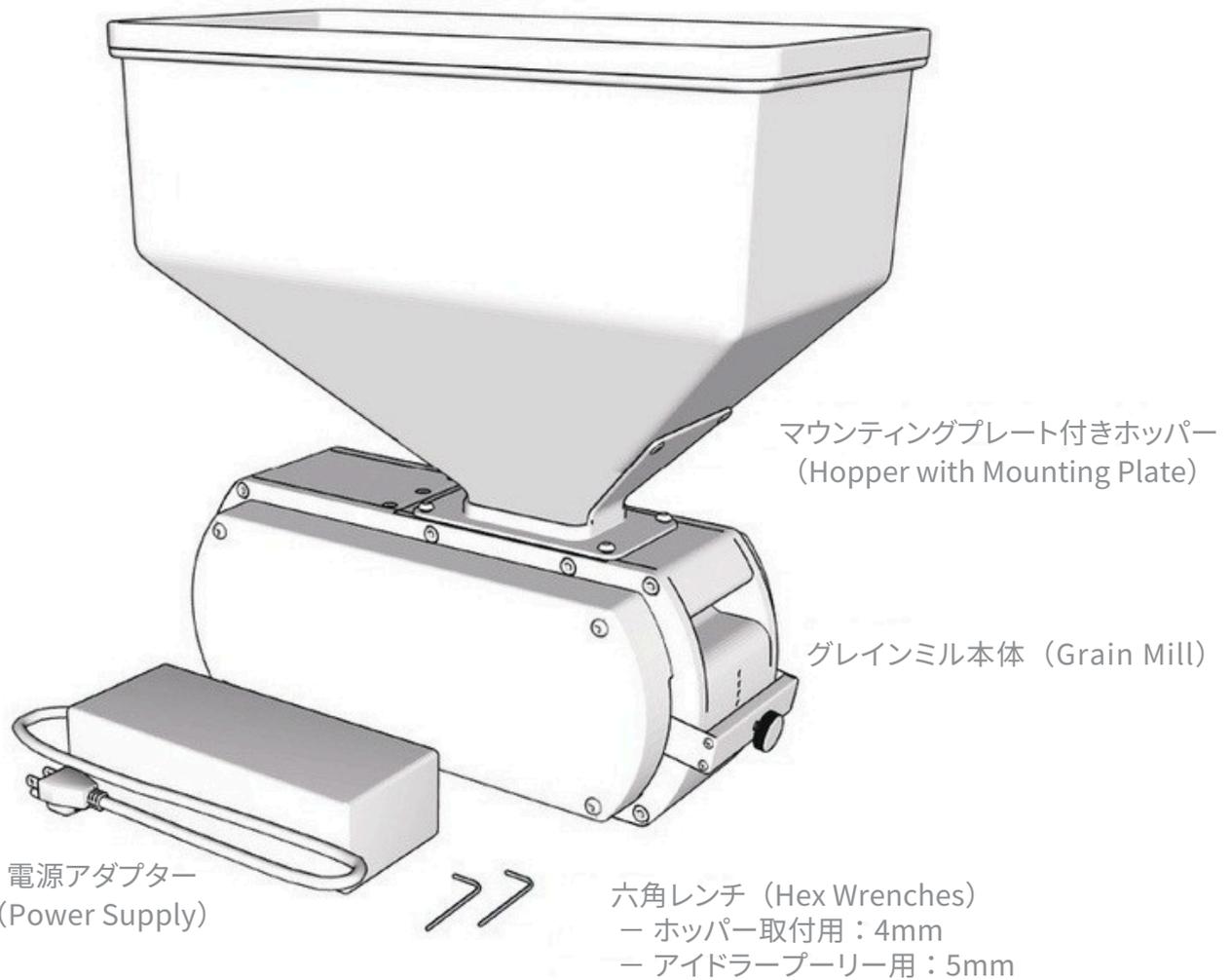
### 取り付け (Mounting)

グレインミルは使用前にしっかりと固定する必要があります。プラスチック製のバケツや固定されていない容器の上では使用しないでください。

### 清掃 (Cleaning)

グレインミルを水や液体で洗わないでください。

## 同梱物



## 特徴と仕様 (FEATURES AND SPECIFICATIONS)

- ローラーのギャップ範囲：0.020～0.080インチ (0.5～2.0mm)
- 標準の120～240VAC 15A 壁用コンセントに対応
- 耐衝撃性のある熱成形ホッパーを採用
- ホッパー容量：25ポンド (未粉碎)
- 処理能力：最大350ポンド/時 (約8分ごとに1袋の穀物に相当)
- 工具不要のギャップ調整が可能
- モーターと駆動系が粉碎室と分離されており、粉塵による詰まりを防止
- 食品グレード304ステンレス製フルートローラーを採用
- 異なる速度のローラーで、殻を保持しつつ過性能を向上
- 大径ローラーによって挟み角を減らし、穀物の粉碎効率を高め、ローラー寿命を延長

# 取り付け手順

## ホッパーの取り付け (HOPPER INSTALLATION)

グレインミル (Grain Mill)、電源 (power supply)、ホッパー (hopper) を開封した後、付属の M6×1.0×12mm ボタンヘッドスクリュー (Button Head Screws) (グレインミル内にあらかじめ取り付けられています) 4本と六角レンチ (hex wrench) を使用して、以下の図のようにホッパーを取り付けてください。



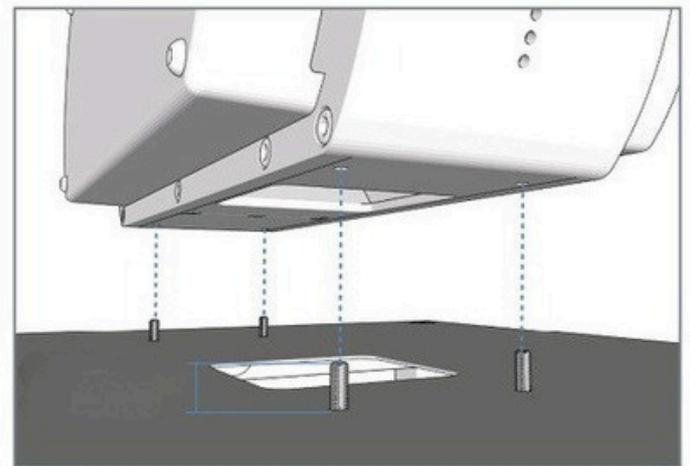
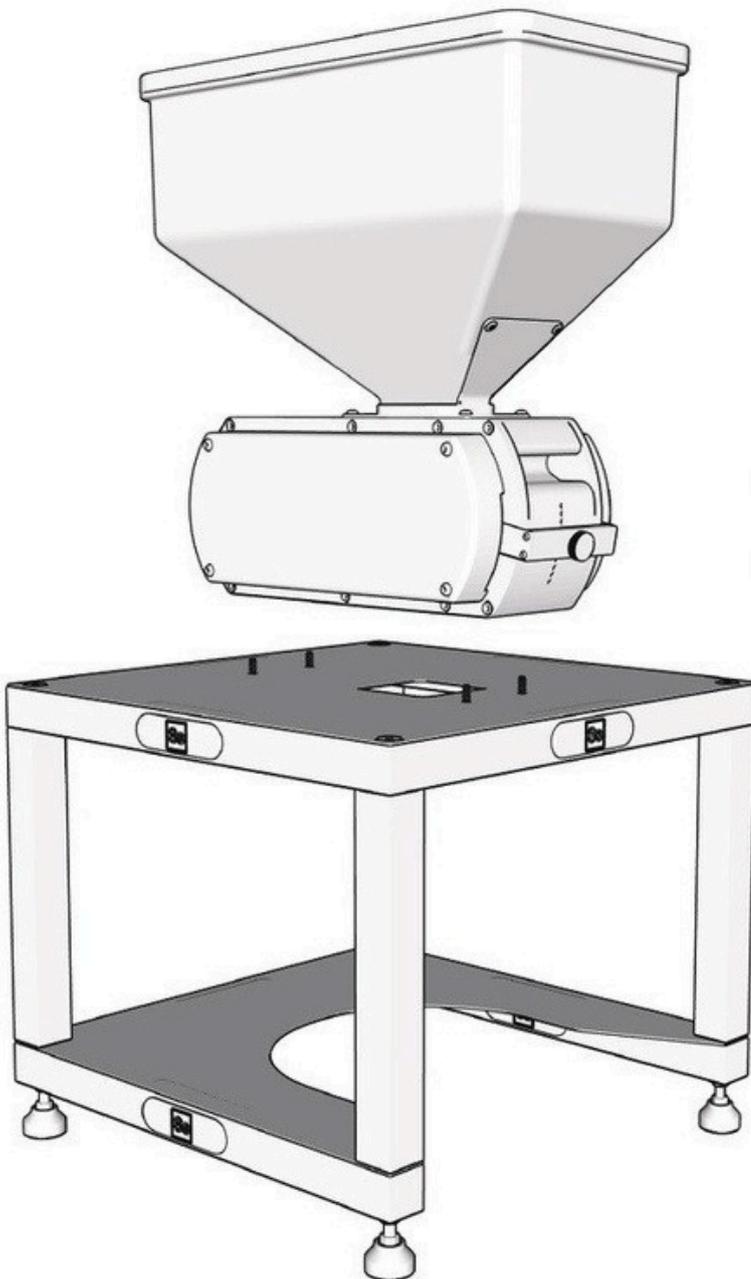
# 取り付け手順

## 取り付け - Ssブリューキューブ (Ss Brew Cube) | グ레인ミルキット (Grain Mill Kit)

取り付けにはいくつかの方法があります：

1. Ssブリューキューブ | グ레인ミルキット (Ss Brew Cube | Grain Mill Kit) を購入する
2. 穀物が流れるための切り欠きがあるテーブルや作業台にアセンブリを取り付ける

グ레인ミル (Grain Mill) をSsブリューキューブ (Ss Brew Cube) に取り付けるには、グ레인ミルの外側にある4つの取付穴が、Ssブリューキューブ上部プレートの4つの穴と一致するように位置を合わせます。Ssブリューキューブ | グ레인ミルキットに付属しているM6×1.0×14mmのネジ (screws) 4本を使用し、下図のようにグ레인ミルを上部プレートに固定してください。



ネジの最大かみ合い深さ (Max screw engagement) : 0.5インチ (inch)

# 取り付け手順

## 取り付け - ユニバーサルテーブルトップ (Universal Table Top)

既存のベンチやその他の構造物にグレインミル (Grain Mill) を取り付ける場合は、以下の計算式を使ってネジの長さを算出する必要があります。

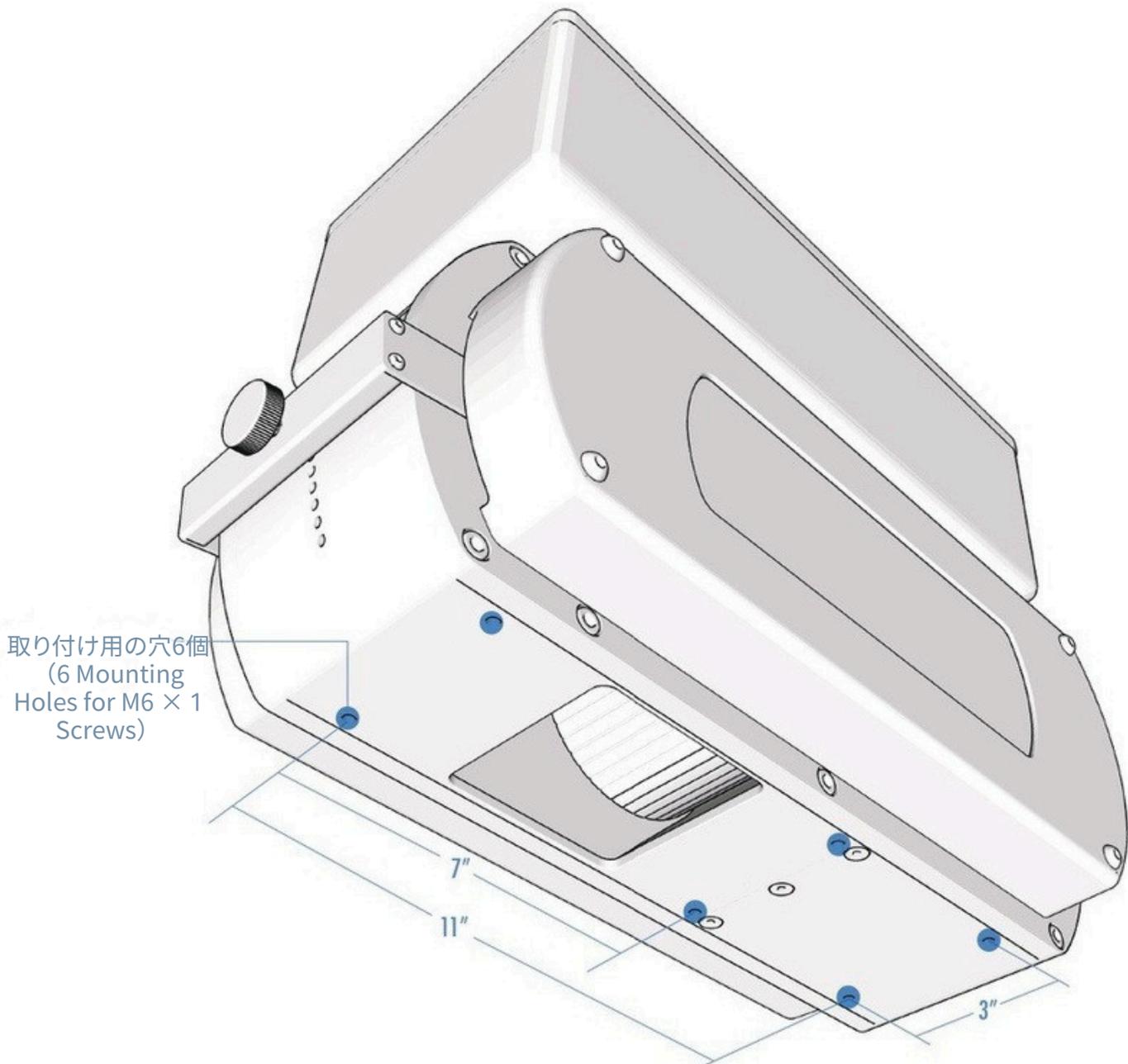
グレインミルの押し出し部分 (extrusion) にネジが0.5インチ (13mm) 以上ねじ込まれないようにすることが非常に重要です。0.5インチ (13mm) 以上ねじ込まれると、機器が破損する可能性があります。

**取り付け面の厚さ (Mounting Surface Thickness) + 0.5インチ = 取り付けネジの長さ (Length of Mounting Screw)**

**【例】**取り付けたいテーブルの厚さが1.5インチの場合：1.5インチ + 0.5インチ = 2.0インチのネジ長さが必要になります。ネジのボルトパターン (bolt pattern) は下図に示されています。

**注意 (Note)：**

グレインミル (Grain Mill) は、その重量のため堅牢な構造物に取り付けることを強く推奨します。5ガロンバケツの上に置くだけの使用は非常に危険であり、おすすめできません。



# グレインミル操作 (Grain Mill Operation)

## ローラーギャップ設定 (Roller Gap Setting)

グレインミルハンドル (Grain Mill handle) にあるギザギザの調整ネジ (knurled adjustment screw) を使用して、以下の表を参考に、お好みの穀物の割れ具合 (grain crack size) に応じたローラーギャップサイズ (roller gap size) を調整してください。(多くの穀物にとっては、「0」の位置が適切な開始ポイントです) 調整ノブ (adjustment knob) がグレインミル本体 (Grain Mill extrusion) に接触しないように、ノブを十分に緩めてからハンドルを動かしてください。その後、押し出し部 (extrusion) にある希望のポジション番号を選び、調整ネジを回して適切な位置に固定します。注意 (Note)：グレインミルは「-5」または「5」の位置を超えた設定での操作はしないでください。

## グレインミル ギャップ範囲 (Grain Mill Gap Range)

ポジション番号	ギャップ (mm)	ギャップ (inch)
-5	0.50	0.020
-4	0.70	0.028
-3	0.85	0.033
-2	1.00	0.039
-1	1.15	0.045
0	1.30	0.051
1	1.46	0.057
2	1.61	0.063
3	1.76	0.069
4	1.90	0.075
5	2.00	0.080

上記の数値は参考値です。実際の穀物の割れサイズ (grain crush size) は校正済みふるい (calibrated sieves) を使用して測定してください。

**注意 (Note)：**負のギャップ設定 (negative gap setting) を使用する場合、ベルト (belt) の張り直しが必要になる場合があります (ページ7参照)。

## 操作手順 (Operating Procedure)

1. グレインミルを平面に固定します (例：Ss Brew Cube | Grain Mill Kitやテーブルトップ)
2. 電源ケーブルをグレインミル本体に接続します
3. 電源アダプターをACコンセントに接続し、スイッチを「オン」にします
4. ハンドルの調整ネジを希望のポジション番号 / ギャップに移動させ、調整ネジを回して所定の穴にしっかり固定します
5. グレインミルの電源ボタンを押して起動します (青色LEDライトが点灯)
6. ホッパーに穀物を投入します

**注意 (Note)：**電源アダプターのスイッチが「オン」になっていることを確認してから、グレインミルの電源を入れてください。

# グレインミルのメンテナンス (Grain Mill Maintenance)

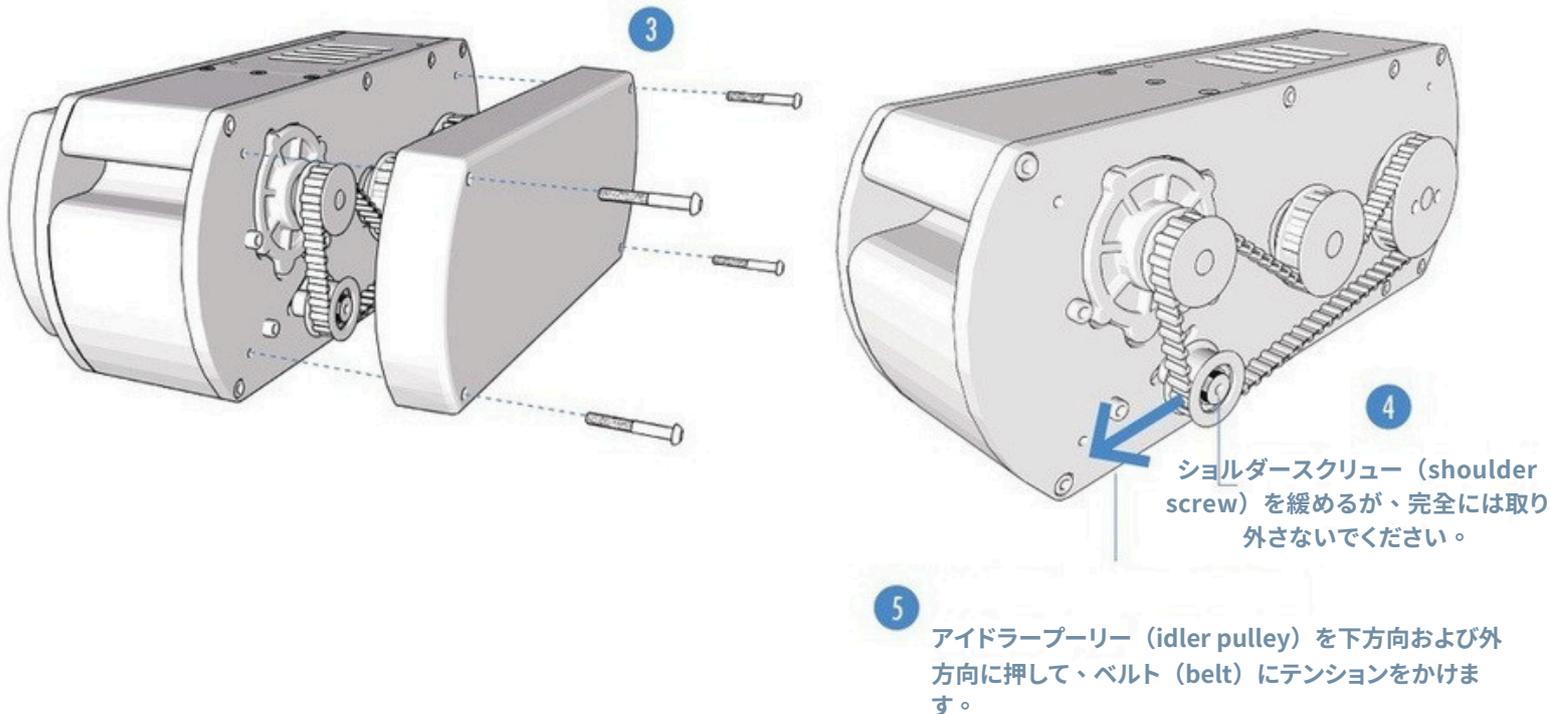
## ベルトの張り調整 (Belt Tension)

Ss グレインミル (Ss Grain Mill) はほとんどメンテナンスを必要としません。内部の密封型ローラーベアリング (sealed roller bearings) は潤滑不要で、非常に長寿命です。ベルト (belt) も非常に耐久性の高い部品ですが、使用に伴って若干の張り直し (re-tensioning) が必要になる場合があります。ベルトの張り直し手順は非常に簡単で、以下の通りです。

1. グレインミルの電源アダプターを抜いてください (Unplug power supply)。
2. ベルトにテンションをかけるには、穀物を通常粉碎する位置より2ノッチ上の位置に調整ハンドル (adjustment handle) をセットしてください。たとえば「0」のノッチで粉碎する場合「-2」のノッチに調整ネジ (adjustment screw) をセットしてテンションをかけます。
3. ドライブ側カバー (drive side cover) (電源ボタンやロゴプレートがないプラスチックカバー) を固定しているM6x1.0×45mmネジ (4本) を取り外します。
4. アイドラープーリー (idler pulley) を保持しているショルダーネジ (shoulder screw) を緩めますが、完全には外さないでください。
5. アイドラープーリーを下方および外方向に押して、ベルトにテンションをかけます。このとき、スペーサー (idler pulley spacer) がしっかり固定された状態でショルダーネジを締め直します。

注意 (Note) : ショルダーネジを締めすぎないでください (DO NOT OVER-TIGHTEN)。締めすぎるとサイドプレート (side plate) を損傷する可能性があります。標準的な長さ3インチ (約76mm) のヘックスレンチ (hex wrench) で十分に締め付け可能です。T型レンチやそれ以上長いレンチは必要ありません。

ローラー (rollers) に過負荷がかかると、システム全体を損傷から守るために、テンションをかけるアイドルプーリーが設計上自動的に緩みます。このような場合は、上記手順に従ってベルトを再調整してください。



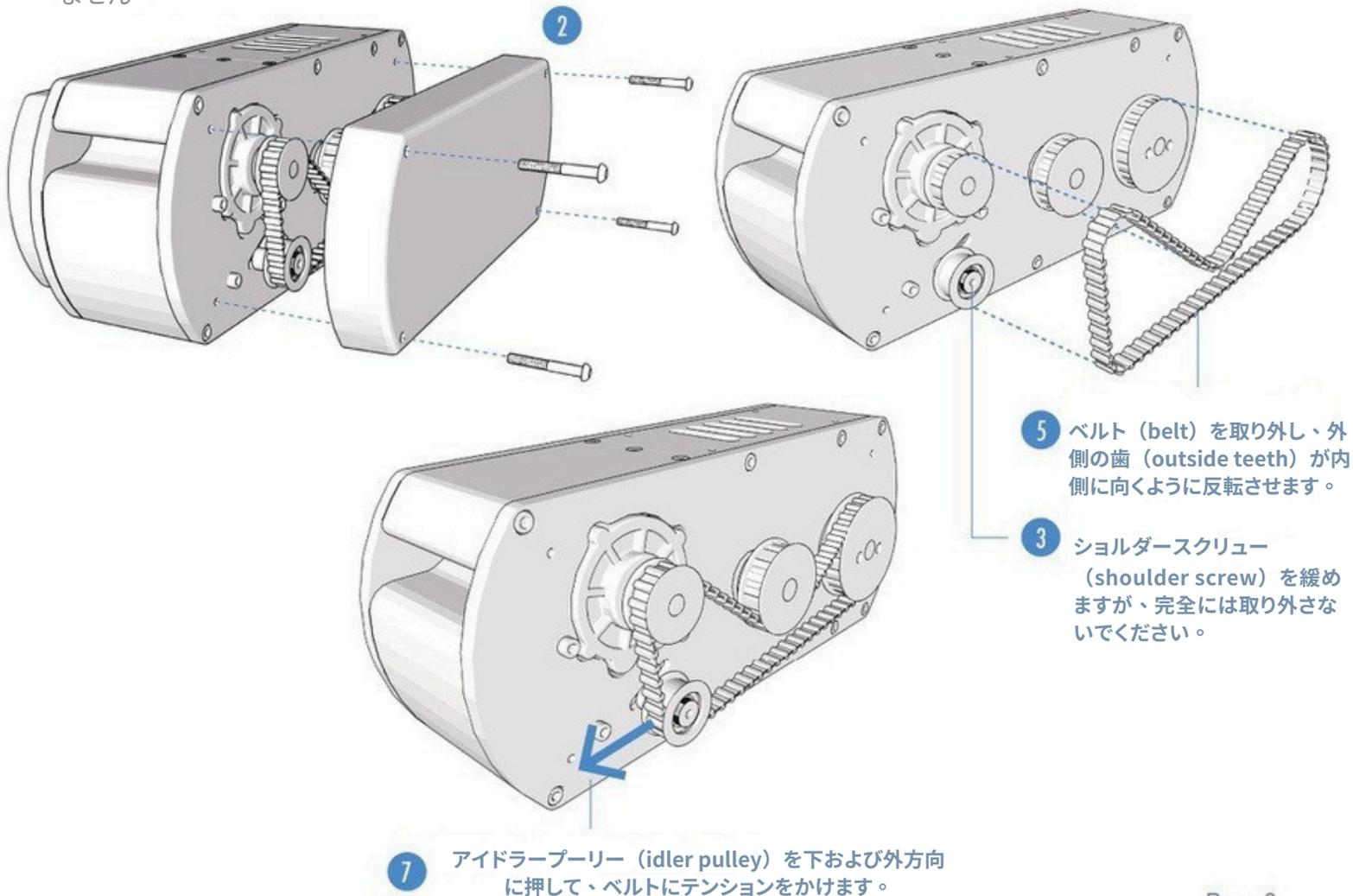
# グレインミルのメンテナンス (Grain Mill Maintenance)

## ベルト回転 (BELT ROTATION)

ドライブトレインベルト (drivetrain belt) は、片側が摩耗または損傷した場合に回転させることができます。損傷の程度によっては、ベルトの交換が必要になる場合もあります。

1. グレインミル (Grain Mill) の電源を抜いてください。
2. 駆動側カバー (powerボタンまたはSsロゴプレートがないプラスチックカバー) から、(4) 本の M6x1.0x45mmネジ (screw) を取り外します。
3. アイドラープーリー (idler pulley) を保持しているショルダースクリュー (shoulder screw) を緩めますが、完全には取り外さないでください。
4. アイドラープーリーを内側に押して、ベルト (belt) を取り外します。
5. ベルトを反転させるか (または新しいベルトに交換)、外側の歯が内側に向くようにして、ギアと噛み合うようにします。図のように同じ方向にベルトを通します。
6. ベルトのテンションをかけるには、グレインを割る予定の位置から2ノッチ上の位置に調整ハンドル (adjustment handle) をセットします。例：ノッチ「0」で大部分のグレインを割る場合、ノッチ「-2」にセットします。
7. アイドラープーリーを下および外方向に押しながらかテンションをかけ、アイドラープーリースペース (idler pulley spacer) がしっかり固定されるようにショルダースクリューを締め付けます。

**注意 (Note) :** ショルダースクリューを締めすぎないでください。サイドプレートが損傷する恐れがあります。標準の3インチ六角レンチ (hex wrench) で十分に締めることができます。T型ハンドルや長いレンチは必要ありません。



# グレインミルの操作 (GRAIN MILL OPERATION)

## CLEANING (清掃)

グレインミルは、エアコンプレッサーと圧縮空気を使用して、ユニットの内外にあるゴミを吹き飛ばして清掃してください。掃除機を使用して、グレインミルの周囲や内部のゴミを回収することも可能です。

## CLEARING A JAM (詰まりの解除)

ローラーに何か詰まると、ユニットが「ガタガタ」動作する可能性があります。このような場合は、直ちにグレインミルの電源を切り、電源を抜いてください。ユニットを点検し、ローラーの詰まりを取り除いてください。

## POWER SUPPLY FAIL-SAFE MODE (電源のフェイルセーフモード)

電源ユニットには、過電流からグレインミルを保護するためのフェイルセーフモードが搭載されています。フェイルセーフモードに入ると、グレインミルおよび電源の両方への電力供給が停止し、電源の緑色のランプも消灯します。電源ユニットをリセットするには、以下の手順に従ってください：

1. グレインミル本体の電源ボタンを「オフ」にします。
2. グレインミルから電源を取り外します。
3. 電源ユニットのスイッチを「オフ」にし、コンセントから抜きます。
4. 電源ユニットが自動的にリセットされるまで10秒待ちます。
5. 電源ユニットを再びコンセントに差し込み「オン」にします。緑色のランプが点灯します。
6. グレインミル本体の電源ボタンを「オン」にします。
7. 通常通り製粉作業を再開します。

## PRECAUTIONS (注意事項)

プラグが差し込まれている間や使用中は、ローラーに指を近づけないでください。

サービス作業を行う場合は、必ずグレインミルの電源を抜いてください。

水やその他の液体を使用してグレインミルを清掃しないでください。

乾燥した穀物のみをグレインミルに通してください。



[SsBrewtech.com](http://SsBrewtech.com)